

ベルマークを集めて 被災地を支援しよう

ベルマークは、被災地の学校で役立てられています！

六甲部で集められたベルマークは、WAP(障がいを持つ方々の社会的自立を応援している事業所)の研修生の協力を得て集計され、ベルマーク財団へ送られます。同財団の調査によって必要と認められた学校に対して教育活動に必要な物が送られますが、ワイズにその協力が少しでもできたらいいですね。支援を受けた学校からベルマーク財団へ送られた拝領書と礼状を紹介します。

平成30年 1月15日

公益財団法人 ベルマーク教育助成財団
理事長 銭谷 眞美 様

大船渡市立大船渡小学校
校長 長澤 敏之

拝領書

公益財団法人

ベルマーク教育助成財団 様

一、ブックトラック 一、児童図書

但し、一般寄附として小野小学校へ

右 有難く拝領致しました

平成三十年一月九日

日田市長 原田啓介

寒さ厳しき季節、貴台におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本年も『東日本大震災被災校援助 教育設備品』の寄贈をいただき、誠にありがとうございました。

昨年11月7日には、本校のマラソン大会が行われ、好天の下、全校の子ども達が競技や応援に励みました。自分たちの記録を更新しようと実力を発揮し、数多くの記録を残しました。また、11月2日に沿岸部としては震災後初めての岩手県教育団体の研究大会として、平成29年度第42回岩手県道徳教育研究大会気仙大会を大船渡小学校、大船渡中学校を会場として開催いたしました。県内外から、300名を超える教育関係者の参加の中、子ども達は一人一人が集中して道徳の授業に取り組み、頼もしく成長した姿を披露しました。これも、被災地の子ども達を気かけ、温かい心情をお寄せくださって活動されてきた皆様のお陰と心より感謝申し上げます。皆様からの寄贈品は、マラソン大会の放送テントとして大事に使わせて頂きました。大変ありがとうございました。

皆様方の今後ますますのご発展を祈念し、お礼の挨拶といたします。



11月7日 校内マラソン大会

11月2日 県道徳教育研究大会気仙大会



12月の集計結果 372.7 点

1月の集計結果 783.9 点 2017年7月からの **累計 7132.8 点**

六甲部地域奉仕・環境事業主査 大野智恵(神戸ポートクラブ)